

つばさ 翼

No.88

発行日 令和7年10月

尾道市立総合医療センター
公立みつぎ総合病院

〒722-0393

広島県尾道市御調町124番地

TEL 0848-76-1111 (代表)

FAX 0848-76-1112

<http://www.mitsugibyouin.com>

ごあいさつ

令和7年4月に公立みつぎ総合病院副看護部長兼保健福祉総合施設副施設長を拝命いたしました。普段は、保健福祉総合施設に勤務し、利用者さまの日常生活の支援や健康管理を行い、保健・医療・介護・福祉を総合的に提供するために公立みつぎ総合病院と連携を取りながら職務にあたっています。

超高齢社会のわが国では、今後もさらに高齢化は進行していく見込みです。近年は、保健福祉総合施設でも、加齢とともに健康を維持することが困難な状態となり、医療依存度が増して、病院受診や入退院をくり返される方が増えています。利用者さまに、できるだけ長く安定した状態で生活を継続してもらえるように、日頃から施設医を中心に管理栄養士、歯科衛生士、リハビリスタッフ、看護師、介護福祉士、生活相談員などの専門職が意見を出し合い、多職種で情報を共有しながら個別の対応を心がけています。また、高齢化の進展に伴い認知症の診断を受けた方や、前段階の方も増加しています。そのため認知症ケアについての研修会を開催したり外部の研修会に参加するなどしてケアの質の向上を目指し日々努力しています。

新型コロナウイルス感染症に伴い開始した面会制限はまだ継続しておりますが、感染状況に応じて面会時間の制限を緩和し、居室で落ち着いて面会していただく時間を設けることができるようになってきました。現在、有床診療所(リハビリテーションセンター)、デイサービスセンターは休止中ですが、特別養護老人ホーム「ふれあい」、介護老人保健施設「みつぎの苑」、デイケア、ケアハウス「さつき」、グループホーム「かえで」では、今後も利用者さまだけでなくご家族にも安心して利用していただける施設を目指します。

今後、人口減少に伴い介護人材不足が懸念されますが、次世代を担う人材を育成し、地域包括ケアシステムの実践を継続しながら住みやすい地域づくりと社会や地域のニーズに対応できる施設運営に努め、利用者さまやご家族の想いを大切にして、皆さまの笑顔にたくさん出会えるよう職員一同一丸となり頑張っております。

最後に、皆さまのご厚情に感謝申し上げますとともに、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



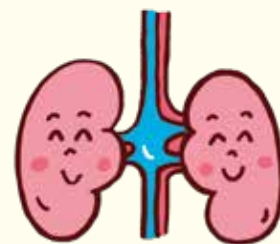
副看護部長 兼 副施設長

小川 浩美



医療最前線

最近数年で腎臓病の薬には大きな進歩があり、腎臓機能の低下を大幅に遅らせることができるようになってきました。しかしながら、腎臓病の進行を完全に止めたり失われた腎臓機能を回復させたりする薬はいまだに開発されていません。そのため、腎臓病を早期に見つけて正しく治療することが大事になります。



今回は腎臓機能の保護に役立つ薬として注目されている薬を紹介します。

① アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬・アンジオテンシン変換酵素阻害薬

薬剤名：オルメサルタン アジルサルタン バルサルタン エナラプリル など

アンジオテンシンⅡとは血管を収縮させて血圧を上昇させる物質です。

これらの薬剤はアンジオテンシンⅡの産生を抑制したり作用をブロックしたりする作用を持っています。もともと血圧を下げる薬として開発されましたが、単に血圧を下げるだけでなく腎臓で血液をろ過する圧力を適正化することで腎臓機能を保護する効果を持つことがわかってきました。現在では腎臓病治療の基礎薬として広く使われています。

② アルドステロン受容体拮抗薬

薬剤名：エプレレノン エサキセレノン フィネレノン

アルドステロンとは体内で産生されるホルモンの一種で、血圧やミネラルのバランスを調整する役割を持っています。アルドステロンが過剰になると体内に塩分が溜まって血圧が上昇したり慢性炎症を惹起したりして臓器に障害を起こします。

このアルドステロンの作用をブロックするのがアルドステロン受容体拮抗薬です。臨床研究では「腎臓機能の低下を抑えられた」という結果も報告されていますが、今のところ慢性腎臓病に対して使用が認められているのはフィネレノンのみです。

No.65

腎臓病と薬



内科部長 奥本 賢

③ SGLT-2阻害薬

薬剤名：ダパグリフロジン エンパグリフロジン カナグリフロジン など

ブドウ糖を尿に排出させることで血糖を下げる効果を持つ薬です。糖尿病の薬として開発されたものですが、腎臓機能を保護する効果があることがわかりました。糖尿病があってもなくても腎臓機能の保護効果に変わりはないようです。

テレビ番組で取り上げられるなど腎臓病の領域でいま最も注目されている薬と言っても過言ではないでしょう。

さいごに

腎臓機能が失われると腎臓移植や透析といった治療が必要になります。新しく透析を開始する人数は以前と比べて少なくなっており、新しい薬の効果を日々実感しています。これらの薬の能力を最大限に発揮させるためには、腎臓病を早期に発見して腎臓機能が大きく低下する前に治療を始めることが重要です。尿検査や血液検査で腎臓の異常を指摘されたら一度は医療機関を受診しましょう。



認定言語聴覚士(摂食嚥下障害領域)の紹介

私は言語聴覚士として2012年に当院に就職し、2024年10月に認定言語聴覚士(摂食嚥下障害領域)の資格を取得しました。

認定言語聴覚士(摂食嚥下障害領域)とは摂食嚥下障害領域における高度な知識及び熟練した技術を用い、高水準の業務を遂行できる言語聴覚士を養成することにより業務の質の向上を図り、社会に寄与することを目的として日本言語聴覚士協会が認定するものです。

私は病院で急性期から回復期、そして介護老人保健施設や訪問看護ステーションで生活用のリハビリテーションを提供する中で、「食べること」に関わる摂食嚥下を中心としたリハビリテーションが社会的ニーズとして高まりを見せていることを肌で感じ、より専門的なリハビリテーションを提供できるようになりたいと思い、今回認定言語聴覚士の取得に挑戦しました。

当院では視覚的に嚥下機能を評価できる嚥下造影検査・嚥下内視鏡検査を多職種共働で積極的に実施していますが、認定取得にあたり、このような検査の重要性や新しい視点について改めて学ぶことができ、また最新の訓練方法についてなども習得することができました。

これからも幅広い知識や質の高い技術を土台として、患者さまや利用者さま、そのご家族から信頼される、そして地域に貢献できる人材になれるよう日々業務に取り組んでいきたいと思っています。



認定言語聴覚士
(摂食嚥下障害領域)
瀧野 剛

こんにちは！

栄養サポート・ステーションです

管理栄養士 川北 愛美

平成30年4月、在宅で過ごす方の栄養サポート窓口として開設しました。

当外来では、食事の事や体力低下などが気になる方を対象に、医師と管理栄養士が一人ひとりの生活スタイルに応じて食事・生活のアドバイスをを行っています。

どんな事をするの？

- 身体計測：体重・血圧・握力・体組成(筋肉・脂肪量など)測定、採血
- 食事調査(摂取栄養量の確認)
- 診察、栄養指導



受診された患者さまからは、「栄養の事をわかりやすく教えてもらい、自宅で元気に過ごせています」「先生が話しやすい」などのお言葉をいただいています。

相談しやすい、アットホームな外来です。受診をご希望の方は、外科外来までお気軽にご相談ください。

診療時間：月曜日 午前中 ※予約制

担当医：平井 敏弘(日本栄養治療学会名誉会員、終身指導医)



男性料理教室(さすが会)開催



尾道市北部地域包括支援センター

尾道市北部地域包括支援センターでは、介護予防事業の一環として、男性高齢者を対象とし、健康的な食生活と男性の自炊等の自立を目指して、2カ月に1回奇数月に料理教室(さすが会)を開催しています。

今回は7月16日、管理栄養士の指導のもと、地域の男性10名が参加されました。テーマを「夏野菜たっぷりのカレーを得意料理に」と題し、定番のお肉・人参・玉ねぎに加え、なす・オクラ・ズッキーニなどの夏野菜をたっぷり入れ、デザートはキウイ・バナナなどが入ったフルーツヨーグルトで、栄養満点のメニューとな

りました。調理の合間にはカフェタイムを設け、季節とメニューにちなんだ健康の話を保健師がおこなっています。

食事後の反省会では、参加者から「隠し味に梅干しが入っており、カレーに合うのか心配だったが、案外さっぱりして美味しかった」「この会に参加して4年目になるが、ほんまに良い会だと思う。これからも参加したい」などの声があがり、スタッフ一同暑さによる疲れが吹き飛ばすような会となりました。

次回は、みなさんも参加してみませんか？



病院ボランティア募集

あなたの“ボランティアの心”を生かしませんか？

公立みつぎ総合病院では病院ボランティアを募集しています。



【写真展示】



【絵手紙】



【七宝額絵】

写真展示・絵手紙・七宝額絵など、興味のある方は、ぜひお問い合わせください。



【問い合わせ先】 公立みつぎ総合病院 地域包括ケア連携室 TEL 0848-77-0955

介護老人保健施設「みつぎの苑」一般棟

みつぎの苑では、令和7年3月から居室での面会が可能となりました。利用者さまやご家族から「ゆっくり話ができてよかった」「いろいろ話せてよかった」と喜びの声をいただいています。また、集団で行うリハビリやレクリエーション、施設の庭での野菜作りなどの日中活動も再開し時間を徐々に増やすことで、コロナ禍以前の「みつぎの苑」に戻ってきています。今回は利用者の皆さんの現在の活動や日々の様子についてご紹介します。



普段の生活では、集団での体操やゲームで身体を、音楽療法では童謡や季節の歌に合わせて口をしっ

かり動かす時間を設けています。また、ぬり絵や間違い探し、オセロ、計算問題、習字や詩吟などの活動にも積極的に取り組まれています。食堂に飾ってあるぬり絵や間違い探しを見ながら「あれは私が塗ったのよ」「この間違い探しが難しかった」と談笑されています。

テレビ鑑賞や新聞を読まれながら、他の利用者さまや職員と話される時間も日課のひとつです。大相撲や高校野球をテレビ観戦していると「この相撲取りが好きなのよ」「県の代表だから応援しようるんよ」と皆さん応援に熱が入り、結果に一喜一憂しながら楽しまれています。

今後も利用者さまに楽しみのある施設生活を送っていただけるよう、寄り添ったサービスを行っていききたいと思います。

グループホーム「かえで」

グループホーム「かえで」では、入居者さまと一緒に地域のスーパーへ買い物に出かけています。買い物は、皆さまがとても楽しみにされている外出の機会であり、職員にとっても一人ひとりの思いに寄り添うことのできる大切な時間のひとつです。

この写真の日も入居者さまと職員と一緒に地域のスーパーに行き、カートを押しながら「これがいかな」「これならみんなが食べられるかな」「これは孫が好きなおやつなんよ」と会話をし、とても楽しい時間を過ごしました。

自分の目で見て選びたい、自分で買いたいという思いは、年齢や環境に関わらず、誰にでもあるものです。その思いに寄り添って買い物を楽しくめるようサポートすることで、家事への意欲や、誰かの役に立てる、役割を持って生活できているという気持ちを支えることができます。

また、噛みやすさや飲み込みやすさで食材を選んでいましたが、一緒に買い物をする中で、その方の好みや新しい一面を知れる大切な機会になっています。

「久しぶりに好きなものが買えて良かった」「お店に来ると気分が変わるね」そんな言葉を聞くと、外出の機会が入居者さまの喜びや生きがいになっていることを改めて感じます。

今後も地域との繋がりを大切にしながら、一人ひとりの「その人らしい暮らし」が継続できるよう、精一杯のサービスを提供していききたいと思います。



職員の紹介

公立みつぎ総合病院に勤務して4年目になります。

他業種より看護師資格を取得し当病院とのご縁にめぐまれ、現在は1病棟にて勤務しています。入退院が多い病棟であり、毎日めまぐるしく業務を行っています。入院により自宅とは違う環境下で過ごす患者さまやご家族の方のストレス、負担は計り知れないものであると日々感じています。

住み慣れた地域へ戻れるよう、また「みつぎ総合病院へ来て良かった」と笑顔で言っただけのように、患者さま、ご家族の希望や個別性に配慮した看護を提供していきたいと考えています。まだまだ未熟な4年目ですが、どうぞよろしくお願いいたします。



看護師
さかね まいこ
坂根 真依子

今年度から公立みつぎ総合病院に入職し、御調保健福祉センターで保健師として勤務しています。御調町は看護学生の頃、市町実習に^{しまち}来させていだき、保健師になりたいと思ったきっかけの町で、今ここで、保健師として働かせていただけることがとても嬉しいです。

現在は、町内2地区と、母子保健などを担当しています。不安や緊張もありますが、地域の皆さま、先輩方がとても温かく迎え入れてくださり、とても感謝しています。まだまだ未熟者ですが、早く皆さまから頼ってもらえる存在になれるように、日々精進していきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



保健師
おがわ
小川 はるか

公立みつぎ総合病院に入職して14年目になります。

現在は回復期リハビリテーション病棟で介護福祉士として働いています。患者さまのケアや身体状況の把握はもちろんですが、コミュニケーションも大切に日々関わっています。患者さまから感謝のお言葉や「ここに来てよかった」などのお声がけをいただくことがあり、その言葉が原動力となっています。

大変な事も多いですが、これからもチームワークを大事にして、多職種と協力しながら患者さまに安心して過ごしていただけるよう関わっていききたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



介護福祉士
ひさだ まき
久田 真希

令和6年4月に公立みつぎ総合病院に入職し、総務課に配属され2年目になります。総務課では、主に職員の給与、保険、共済組合に関する業務などを行っています。入職当初は、新しい環境に慣れることで精一杯でしたが、先輩方の丁寧なご指導のもと、少しずつ業務に慣れてきました。担当業務の知識はまだまだ浅く戸惑うこともたくさんありますが、少しずつ理解を深め、できることが増えていくことに喜びを感じています。

未熟ではありますが、幅広い知識の習得に努め、一つひとつの業務に誠実に向き合いながら、誰からも信頼される職員を目指して、日々成長していけるよう励んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



主事
ももた もえ
百田 萌恵



第41回尾道市御調地区



尾道市合併20周年記念

健康福祉展

合併20周年
みんなでつなぐ
みつぎの地域包括ケア

令和7年
10月25日(土)
10:00~15:00

公立みつぎ総合病院 御調保健福祉センター
みつぎいきいきセンター



みつぎマルシェ

ふれあいステージ

展示・測定コーナー

- 健康づくり活動パネル展示
- 体験コーナー（子ども白衣の試着、お菓子を使って調剤（薬剤師）体験）
- いきいきセンタートレーニング機器体験
- 子どもコーナー ●測定コーナー
- バザー ●スタンプラリー
- 屋外ステージ（踊り、太鼓ほか）

主催／尾道市

お問い合わせ先／御調保健福祉センター TEL：0848-76-2235

ご意見、ご感想をお聞かせください

お問い合わせ先：地域包括ケア連携室 TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956
E-mail: tiiki@mitsugibyoin.com ホームページは「みつぎ病院」で検索
発行：尾道市立総合医療センター 公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会

